

彦根駅前お城通り道路空間利活用社会実験 「ひこね ひらく みちづくり」の結果について



彦根市では、彦根駅から彦根城までを結ぶ「駅前お城通り」について、居心地が良く、歩きたくなる道路空間の実現に向けた道路再編の検討を進めています。令和8年5月に道路空間利活用に関する社会実験を実施しました。実施目的は以下のとおりです。

①周辺交通への影響を確認

駅前お城通りの4車線道路を試行的に2車線とし、渋滞や周辺道路の交通影響を確認しました。

②新たに創出した歩行空間の使い方を検討

道路空間の新たな利活用の可能性を事業者・利用者に体感してもらうため、飲食・物販・マルシェ・アクティビティ等さまざまな使い方を検討しました。

【実施概要】

▼実施場所

駅前お城通り



▼実施期間

令和8年5月23日（土）～5月31日（日）の9日間

▼規制方法

現状（片側2車線の計4車線）



規制（片側2車線を歩行者空間化）



【主な実施内容】

・休日：イベント時等の使い方を検証

飲食／物販／音楽ライブ／展示／塗り絵／バランスボール／トランポリン／スケートボード等



・平日：日常の使い方を検証

キッチンカー／露店／チョークアート／移動図書館／スローモビリティ等



彦根駅前お城通り道路空間利活用社会実験 「ひこね ひらく みちづくり」の結果について



【周辺交通への影響に関する効果検証】

1. 検証目的

- ①駅前お城通りを4車線から2車線への再編が可能か確認する。
- ②駅前お城通りの車線数減少により周辺道路に大きな影響がないか確認する。
- ③次回社会実験や将来道路再編に向けた課題を把握する。

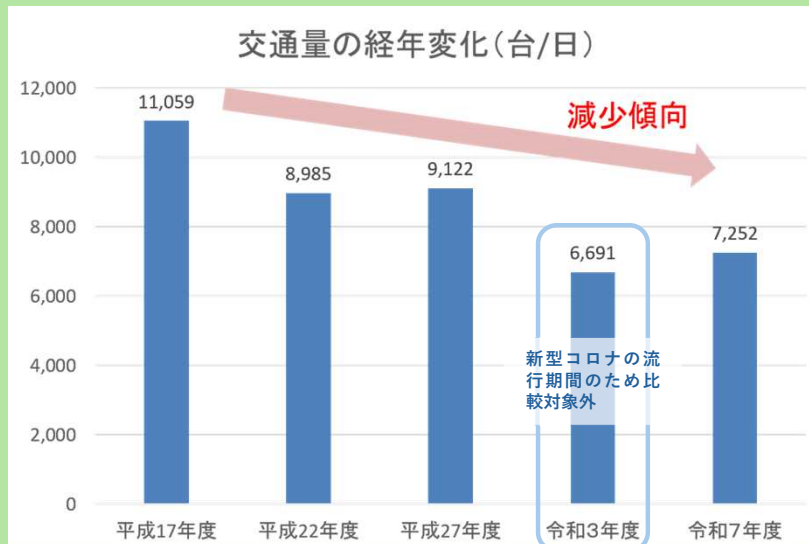
2. 検証方法

- ・交通量調査（旭町・旭町西・護国神社前・京町交差点）
- ・人流ビッグデータ分析
- ・交通センサス分析
- ・沿道住民・沿道事業者へのアンケート、ヒアリング

3. 調査結果

- ・駅前お城通りの交通量は減少傾向にあり、令和7年度の交通量は平成27年度と比較して約20.5%減少しています。
- ・駅前お城通り周辺交差点について、平常時と社会実験時の交通量調査を実施しました。（交通量調査結果は参考資料参照）
- ・渋滞が懸念されていた護国神社前交差点の交通量は2車線化時に減少しています。また、通常4車線時の交通量も設計基準交通量を下回っており、2車線化した場合にも交通容量は余裕がある状況です。

▼駅前お城通りの交通量の経年変化



※令和7年度の交通量の推計値は、令和3年度全国道路・街路調査の彦根停車場線の
昼間率1.27をもとに算出

▼駅前お城通りの交通量

	休日	平日
現状の4車線交通量	5,294台/日※	6,691台/日※
社会実験中の2車線交通量	3,917台/日※	5,447台/日※
設計基準交通量	2車線化した際の交通容量 8,000台/日	

※24時間交通量の推計値は、令和3年度全国道路・街路調査の彦根停車場線の
昼間率1.27をもとに算出

▼沿線住民・沿線事業者アンケート、ヒアリング

プラスの意見

人通りが増えた／来客・来店者数が増えた 等

マイナスの意見

荷物の搬入出がしづらかった／自動車の移動がしづらかった／停車車両による滞留（渋滞）／交通事故を誘発する危険性／車線が減って不便／周知の不足／構造物の段差が障害 等

彦根駅前お城通り道路空間利活用社会実験 「ひこね ひらく みちづくり」の結果について



【新たに創出した歩行空間の使い方に関する効果検証】

1. 検証目的

- ①道路空間の新たな利活用の可能性を事業者・利用者の双方に体感してもらうこと。
- ②道路空間の利活用に関心を持つ事業者を発掘し、今後の継続的な利活用につなげること。

2. 検証方法

- ・人流ビッグデータ分析
- ・利用者シール投票（社会実験区間に投票場所設置）
- ・利用者や市民等（子ども含む）へのアンケート（紙アンケート配布およびWebアンケート誘導）
- ・社会実験出店事業者へのアンケート（紙による提出依頼）

休憩の様子▶

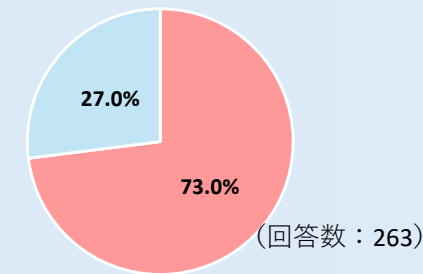


3. 検証結果

- ・平日、休日ともにイベントへの参加に加え、「休憩」等を目的とした滞在も見られました。通常時より駅前お城通りの歩行者数が増加しました。（交通量調査結果は参考資料参照）

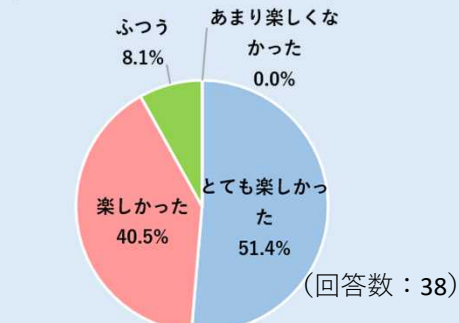
▼利用者アンケート結果

○駅前お城通りの将来の姿として
望ましい方はどちらですか。
（利用者シール投票）



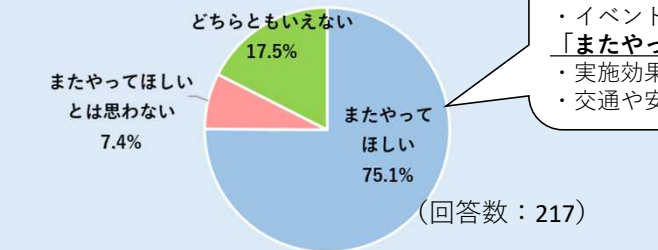
■ 歩道を広げた歩行者中心の道路がいい
□ これまでどおり車中心の4車線道路がいい

○今日のイベントはどうでしたか。
（子ども向けアンケート）



■ とても楽しかった ■ 楽しかった
■ ふつう ■ あまり楽しかった

○社会実験に対する感想を教えてください。
（利用者アンケート）



■ またやってほしい ■ またやってほしいとは思わない ■ どちらともいえない

「またやってほしい」理由

- ・まちの活性化に繋がる
- ・イベントや飲食を楽しめる 等

「またやってほしいと思わない」理由

- ・実施効果や意義が分かりにくい
- ・交通や安全面への不安がある 等

その他の意見

- ・トイレがない
- ・水道、電気が使いたい
- ・駐車場がない

▼寄せられた市民の声

駅前も含めて街の玄関口にふさわしい通りにしてほしい／賑わい創出の可能性を探ることは必要／周知不足で混乱した／観光客に喜んでもらえる充実したイベントを実施すべき／持続性のないイベントは不要／地域住民の目線を大切にほしい／生活環境悪化につながる行為はやめてほしい（音量、夜間の飲酒）／平日と休日の区別が必要（平日に賑わいがいい）／シャッター街になっている既存の商店街の活性化が優先 等

まとめ

【課題】

○交通面

- ・ 2車線でも安全で円滑な車両交通環境の確保
（右折車線の適正配置、荷捌きスペースの確保、歩行者の安全対策、自転車通行帯の確保）

○空間活用面

- ・ 近隣店舗や地域との連携および空間活用事業者の発掘
- ・ 空間利活用の活動の継続性
- ・ 空間利活用において必要な設備の設置（トイレ、水道、電気等）
- ・ 駅前からのエリア全体の賑わい創出、歩行者動線の工夫

【今後について】

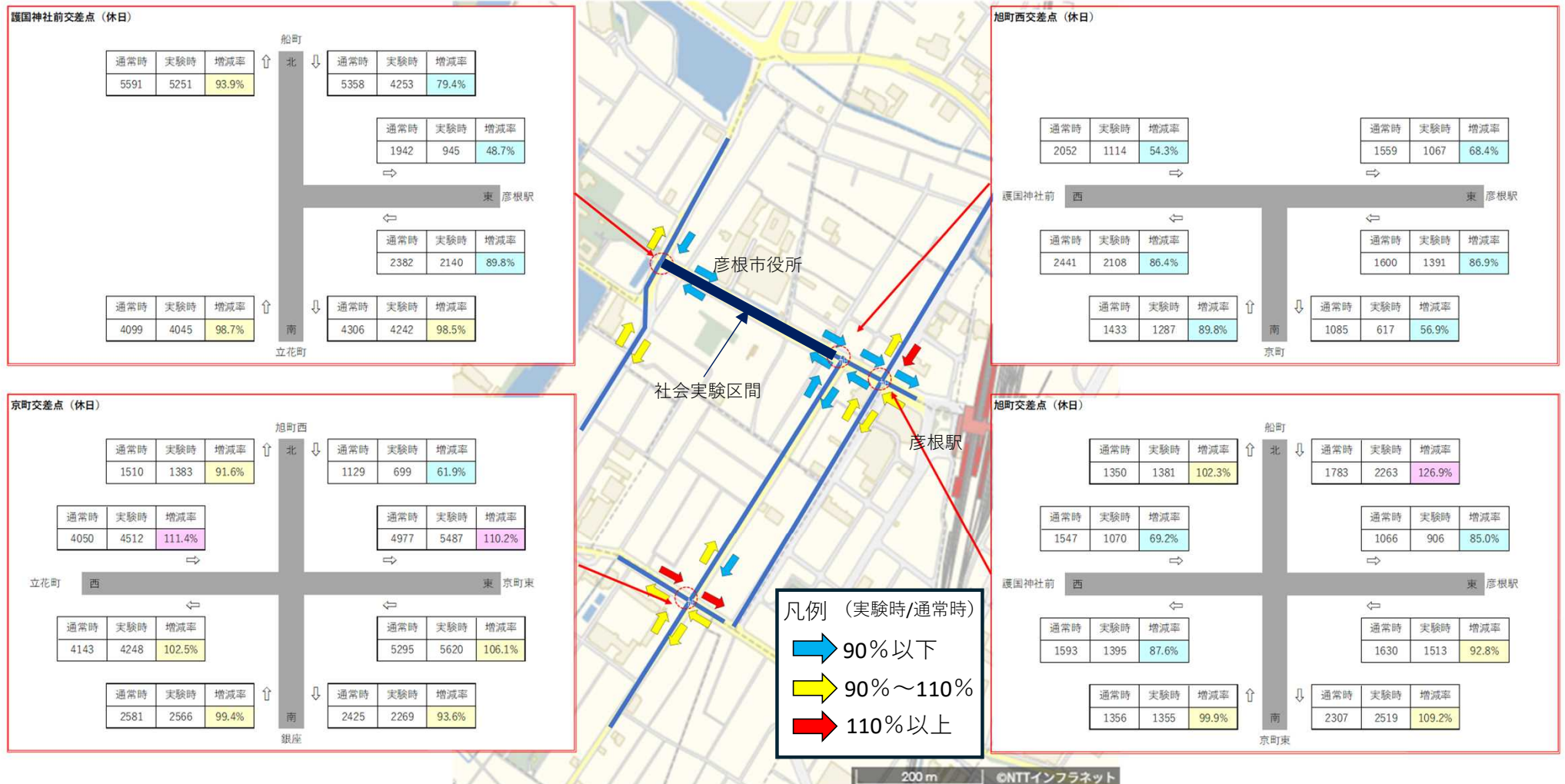
道路空間の再編においては、単に車両通行部分を減らし空間を確保するだけでなく、その空間にどのような役割を持たせ、どのような活動を生み出していくのかが重要で、休憩や滞在場所の創出に加え、近隣店舗、商店街や地域との連携など、人が訪れ過ごしたくなる空間としていくための工夫が必要と考えています。

今回の実験において確認された交通面や空間活用上の課題を踏まえ、道路としての交通機能を確保しながら、沿線の魅力向上や、まちなかの賑わい創出につながる道路空間の在り方について検討を進めてまいります。

なお、2回目の社会実験の実施に向け、区間、交通規制方法等の調整を進めてまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

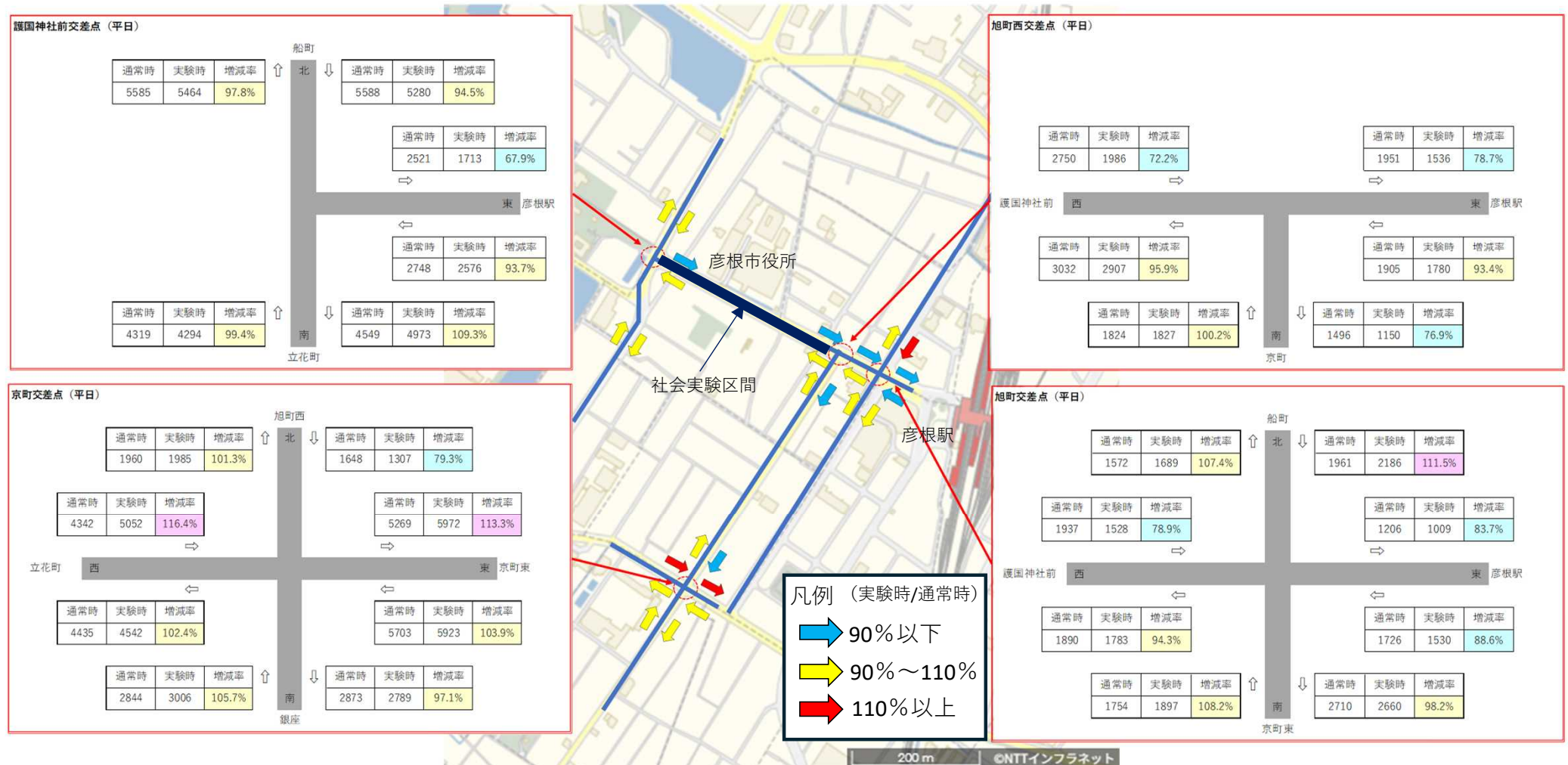
交通量調査（12時間交通量 7:00~19:00）

- ・自動車
- ・休日（通常時：5/10（日）、社会実験時：5/24（日））



交通量調査（12時間交通量 7:00~19:00）

- ・自動車
- ・平日（通常時：5/11（月）、社会実験時：5/25（月））



交通量調査（12時間交通量 7:00~19:00）

- ・ 歩行者、自転車
- ・ **休日**（通常時：5/10（日）、社会実験時：5/24（日））

▼護国神社前交差点（休日）

通常時	実験時	増減率
2,668	4,633	173.6%

▼旭町西交差点（休日）

通常時	実験時	増減率
1,710	2,801	163.8%

▼旭町交差点（休日）

通常時	実験時	増減率
6,346	10,436	164.5%



交通量調査（12時間交通量 7:00~19:00）

- ・ 歩行者、自転車
- ・ **平日**（通常時：5/11（月）、社会実験時：5/25（月））

▼護国神社前交差点（平日）

通常時	実験時	増減率
3,315	3,800	114.6%

▼旭町西交差点（平日）

通常時	実験時	増減率
2,381	2,637	110.8%

▼旭町交差点（平日）

通常時	実験時	増減率
7,887	8,925	113.2%

